

令和6年度 香川短期大学  
学校推薦型選抜前期  
指定校選抜Ⅲ前期（特待生入試）  
『国語総合』問題用紙

令和5年11月18日

注 意

1. 試験監督の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題は  から  まで、12 ページあります。
3. 解答用紙、問題用紙ともに受験番号を記入しなさい。
4. 答えはすべて解答用紙に書きなさい。

受験番号	<input type="text"/>
------	----------------------

一

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

問一 二重傍線部 (a)・(c)・(d) のカタカナを漢字に改めた場合、それと同じ漢字を用いる語句はどれか。それぞれのア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

(a) リンカク

- ア 事故防止のため先行車と十分なカンカクをあけることが重要だ。
- イ 日本チームはタイカク面で優っていた強豪チームに戦術や技術力の高さで勝利した。
- ウ チカク変動によって隆起した地形を調査する。
- エ 姫路城にそびえるテンシユカクを見上げる。
- オ 古代のジョウカク都市を巡る歴史ツアーに参加した。

(c) キハク

- ア チャップリンは映画史に残るキゲキ王だ。
- イ 決勝リーグ進出をかけたキハクのこもった試合が続いている。
- ウ 七十歳をコキと呼ぶのは唐の詩人杜甫の詩句に由来する。
- エ 本邦初演となったそのオペラは、キバツな衣装や仮面で人々を大いに驚かせた。
- オ 挑戦する勇氣と行動力をハツキして学生生活を充実させてほしい。

(d) ヨウソウ

- ア 高品質で機能的なソウビが施された新車両が公開された。
- イ 災害が起こったあとの生活では地域住民のソウゴ扶助が重要である。
- ウ こんな事件が自分の身の回りで起きようとはソウゾウもなかった。
- エ 東寺の五重塔に代表されるタソウ構造の建物が寺院の魅力の一つとなっている。
- オ パイプオルガンのソウゴンな響きが聖堂に集う人々を包んだ。

問二 二重傍線部 (b) 「門地」の意味を表している語句を、本文中から二字以内で抜き出して記しなさい。

問三 空欄  ・  ・  に入る言葉として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じものを二度選ばないこと。

- ア 画一    イ 抽象    ウ 感覚    エ 感情    オ 図式    カ 論理

問四 傍線部① 「高みに立って万人を上から見おろすようにして」とあるが、どのようなことをたとえているのか。

次の空欄に本文中から抜き出した三十字以内の語句を補って説明しなさい。ただし、句読点も字数に数える。

こと

問五 本文には次の一文が抜けている。これを補うべき箇所を、本文の空欄〔A〕と〔D〕の中から一つ選び、記号で答えなさい。

「ちがいがなくなるのではない。」

問六 傍線部② 「そんな関係を目して、たがいに「対等」だというのである」について、「そんな関係」とはどのような関係か。

筆者が繰り返し述べている主張を踏まえつつ、「そんな関係」を説明した次の文の空欄に、本文中の語句を使って適語を補いなさい。なお、空欄内の漢数字は各制限字数を示している。ただし、句読点も字数に数える。

(二十五字以内) を深めていくなかで、 (三十字以内) を認めつつ、それらを超越して築かれる豊かな人間関係

問七 本文で述べられている内容と合致するものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「平等」と同じく「対等」という観念も成立しがたいものである。
- イ 「平等」ではない社会関係の中でも「対等」な関係は成り立つ。
- ウ 「対等」な関係の形成のため「平等」であることだけが重要だ。
- エ 差別がなくなるとかえって「対等」な関係は成り立ちにくい。
- オ 「対等」でない関係性の中では「平等」という観念が成立しない。

二

次の文章は谷崎潤一郎の随筆『陰翳礼讃』いんえいらいさんの一節である。一九三三（昭和八）年に書かれたもので、彼が自宅を新築した際の経験をもとに日本建築の独自性を論じた文章である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。なお、設問の都合で一部に省略と表記を改めた箇所がある。

問一 二重傍線部 (a) ㄥ (c) の漢字の読み方をひらがなで、(d) ㄥ (e) のカタカナを漢字で、それぞれ記しなさい。

問二 傍線部①「ひとしお」の意味として最も適当なものを、次のアㄥカの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 一途    イ 一層    ウ 一興    エ 一向    オ 一見    カ 一級

問三 傍線部②について、「厠」が「日本建築の中で一番風流にできている」という理由は何か。それを説明した次の文の空欄に、傍線部②より前の本文中の語句を使って適語を補いなさい。なお、空欄内の漢数字は各適語の字数を示している。

清潔である上に  と  が備わり  のにふさわしい場所であるから。

問四 空欄〔A〕・〔B〕・〔C〕に入るのに最もふさわしい語句を、次の選択肢の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア したがって    イ もちろん    ウ ところで    エ かえって    オ それゆえ    カ なるほど

問五 傍線部③「風雅の骨髄」を筆者はどのようなものと考えているのか、最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 不浄である場所を徹底的に清潔にして明るく見せ、居心地の良い空間にすること。

イ 目に映るものを詩化して不浄である場所から眼をそらす工夫をしていること。

ウ 公衆の前で口にすることさえはばかれるものを積極的に隠そうとしないこと。

エ 機能面の欠点や不便さを風流という美意識で我慢して容認していること。

オ 朦朧とぼかしてはつきりさせないことで、自然の美が感じられるようにしていること。

問六 本文の趣旨と一致しないものを、ア～オの中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本の伝統的な文化においては、不浄で人前をはばかりるものをできる限り人前から遠ざけながら一方でそれを自然と調和させるような工夫があったが、清潔さを第一に求めるあまりに、近代以降そうした配慮も次第に失われてきている。

イ 日本は西洋から近代的な装置を取り入れて、快適な生活環境と利便性とを手に入れたが、その代わり祖先から育まれてきた精神にやすらぎを与えるような伝統的な感性を失ってしまったといえる。

ウ 廁といったものは最も人の眼から隠しておきたいもので、母屋から遠く離してつくるのが理想だが、広い敷地をもつ寺院などは違う普通の住宅ではそれがかなわないので、その代わりに浄化装置が取り付けられるようになった。

エ 日本の近代化は西洋化でもあったけれど、建築においてもわが国独自の良い点が数多くあるにもかかわらず、それらを十分に活かして残さないことが残念であり、もっと私たちの習慣や趣味生活に順応するように改良すべきである。

オ 日本の伝統的な建築は朦朧とした薄暗さや静寂さを巧みに演出し、雅致のある場所を作り上げたが、現代の生活では欠点ともいふべきところがあり、機能面で優る西洋式の技術を積極的に取り入れていくことが重要だ。



三

次の文は、ある寺の門前で名物の焼き餅を商う店主と客とのやりとりを再現したものである。  
文中の傍線部を敬語表現にしたい場合、どのように改めるべきか、あとの選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。

〔店主〕お持ち帰りですか、それともここで①食べますか。ここででしたら、中で②掛けてお待ちください。お茶も③ご用意していただきますから、お連れ様もどうぞ、どうぞ。

〔客〕そうね。歩きながら食べるのもお行儀が悪いから。

〔店主〕散策なさるのは、食べてからに④したらいいですよ。

〔客〕そうするわ。お茶も飲みたくなつたし。とりあえず三人分⑤もらおうかしら。

〔店主〕ありがとうございます。しばらくお待ちください。

【選択肢】

ア	なさったら	イ	いたしたら	ウ	いたされたら	エ	いらつしやい	オ	ご用意されてお
カ	ご用意しておられ	キ	ご用意しており	ク	召し上がり	ケ	召し上がられ	コ	いただかれ
サ	いただこう	シ	受け取ろう	ス	拝受しよう	セ	掛けなされ	ソ	お掛けになつ
タ	お掛けになられ								

四

次の傍線部①～⑤について、その意味として最も適当なものをそれぞれのア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 桜の便りが待ち遠しいこの頃ですが、つつがなくお過ごしでしょうか。

ア 美しくきれいなままで

イ 休んでも差しつかえなく  
ウ 働かずにゆっくりして  
エ 別れを惜しんで  
オ 変わりなく無事で

② 脚本が気に入らないと言いつ出した俳優を必死になだめすかして、なんとか映画の撮影を終えた。

ア 冗談を言つて気分をやわらげ

イ 脅し文句を並べてあきらめさせて

ウ 機嫌をとつて気を変えさせて

エ 許しを求めて怒りをしずめさせ

オ 責め立てて考え直させて

③ 彼は数々のタイトルを手にしてきた選手だが、そろそろ引退の潮時と考え始めているようだ。

ア 満潮の時刻

イ 飽きてきた頃

ウ ぎりぎりの段階

エ ふさわしい時期

オ 覚悟を決める時

④ 社会人になると気の置けない友人の存在が殊更にありがたいものだ。

ア 落ち着いた気持ちで親しめる

イ 遠慮しないで気楽に付き合える

ウ 気分を害さず対応できる

エ 注意をめぐらし気配りのある

オ 緊張して気が緩むことがない

⑤ 彼女は図書館に並んだおびただしい蔵書の中から目ざとく目的の本を見つけた。

ア 鋭い目つきで

イ 幸運にも目を向けて

ウ 目を凝らし注意して

エ せわしなく見まわし

オ すばやく目をつけて